

(別紙)

# 障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

神奈川県

## 【基本情報】

フリガナ	シカイケキョクシヨウカイ
法人名	社会福祉法人 翔の会
フリガナ	ニウトウケモ
事業所名	入道雲
提供サービス (複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
施設入所支援	
職員数 (常勤換算数) 【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出 (産休・育休、休職は除く)】	43.1 人
ICT機器等導入完了日	令和 6年 3月 18日

※行・列の追加は行わないでください。

### (1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
請求業務	部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
給与業務	部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない (紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している (紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している (全てICT機器等で対応)

### (2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	dynabook sj73/kv	3	モバイル
④インカム	②情報の共有化	ケンウッド ubx-is20	10	
⑦Wi-Fi・ルーター	①作業の迅速化	11ac 2x2 デュアルバンド 無線waps-1266	4	
⑦Wi-Fi・ルーター	①作業の迅速化	Yamaha poehub swx2110p-86	1	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化 (支援記録の作成など)
- ②情報の共有化 (職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化 (請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	5人	113件	1,356件	20分	452時間	90時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	10人	31件	366件	300分	1,830時間	183時間	
		0件	0件	0時間	0時間	#DIV/0!	
		0件	0件	0時間	0時間	#DIV/0!	
		0件	0件	0時間	0時間	#DIV/0!	
		144件	1,722件	320分	2,282時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④動怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①については、支援記録等の作成者が、5名程度おり、日中活動（生活介護）の日数22.5日（月）をかけた数を件数にしている。②については、インカムを10人の職員が使用しているため、それを1件（1日）として計算して、30.5日（月）をかけた数を件数にしている。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①については、支援記録等の作成者が、1人20分かけているのを、1件としている。（年間業務量は、20分×5人×22.5日（月）×12か月で算出）②については、職員間の情報伝達や共有に1人あたり、1日30分かけているので、30分×10人分で1件を算出している。（300分×366日で年間業務量を算出）

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	5人	113件	1,356件	10分	226時間	45時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	10人	31件	366件	280分	1,708時間	171時間	
		0件	0件	0時間	0時間	#DIV/0!	
		0件	0件	0時間	0時間	#DIV/0!	
		0件	0件	0時間	0時間	#DIV/0!	
		144件	1,722件	290分	1,934時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④動怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①については、支援記録等の作成者が、5名程度おり、日中活動（生活介護）の日数22.5日（月）をかけた数を件数にしている。②については、インカムを10人の職員が使用しているため、それを1件（1日）として計算して、30.5日（月）をかけた数を件数にしている。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①については、支援記録等の作成者が、1人20分かけているのを、10分に短縮しているため、1件としている。（年間業務量は、10分×5人×22.5日（月）×12か月で算出）②については、職員間の情報伝達や共有に1人あたり、1日30分かけているのを28分に短縮しているため、28分×10人分で1件を算出している。（280分×366日で年間業務量を算出）

年間業務時間削減率（%）

15.2%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A. ひと月当たり	B. 年間作成文書量 (A×12)
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A. ひと月当たり	B. 年間作成文書量 (A×12)
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率（%）

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

現場での事務や情報共有が課題になっていたため、検討する機会を持ちました。その結果、インカムやワイファイ・モバイルなどが有効との意見などがあり、集約して、神奈川県に相談。その結果、導入することになった。導入後に現場に使用方法や目的を伝えて、現在使用している。現場での効率化などが、進み、支援者の情報共有や事務時間軽減に役立っている。インカムの機種を選定やモバイル等の機種を選定に苦労した。現在入れている機種が最適ではなく、最適な機種などを導入するには、予算がかかりすぎるので、現状の機種を選定にいたった。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。  
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

② ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

- 情報端末導入による効果
- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
  - 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
  - 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
  - 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
  - 5 その他の効果があった。
  - 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

- ソフトウェア導入による効果
- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
  - 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
  - 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
  - 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
  - 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
  - 6 その他の効果があった。
  - 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

③ ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

現場での活動中、特に見守りなど行っている時間に、事務などを並行して行えるようになったため、現場の時間が終わった後に残って事務をすることが減った。利用者の支援について、利用者の食事量など現場の支援の確認して、報告するなどの情報共有について、インカム一つで通信連絡報告が出来て、現場を走り回ったり、わざわざ、支援した職員を探して報告を受ける手間が減った。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

利用者を支援する計画や支援する内容の深化（利用者との現場で話したり、活動したり）に、確保する時間を当てている。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減 無

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--